

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

＜学校教育目標＞

～ 夢に向かって ～

第7号

令和7年9月26日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

『40周年』

校長 小熊 誠

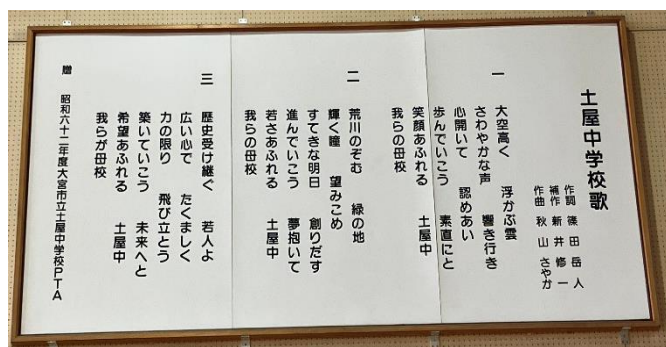
土屋の全総力を挙げて戦った学校総合体育大会から112日、文化部や駅伝には土屋の看板を背負った3年生もまだ戦ってくれていますが、いよいよ1,2年生による新人戦が始まります。土屋の顔が赤から緑へ大きく動き始めます。そして、10月に入ると、10日には、40周年の式典と合唱コンクール、18日には吹奏楽部が3年連続全国金賞を掛けた全国大会、21日には駅伝大会も迫ってきています。「土屋秋の陣」開幕です。保護者・地域の皆様、どうぞ土屋の活躍に御期待ください。ちなみに、15日の放課後には体育館で、吹奏楽部が全国に向けて、最終調整の演奏を実施します。御時間に御都合のつく方々は、どうぞお越しいただき、魂のサウンドに触れていただけると幸いです。お待ちしております。

さて、今月は創立40周年に際し、**校章・校歌・最初の学校教育目標**について触れたいと思います。

校章：原作者は保護者の方で、当時の先生が修正補作して、開校の年の7月1日に制定されました。T中と呼び、若き情熱を中央の「中」に表しています。下の3つのペンは、3学年の固い協力と学ぶ心を表現しています。バックの力強くはばたく翼は、未来に向かって伸び行く土屋中のイメージを純白で構成しています。校舎にシンボルとしてそびえる大きな校章は、20周年のときに、皆でアルミ缶を集め、作成したそうです。土屋の宝の一つです。



校歌：歌詞は、先生、生徒、保護者からの公募により決められ、開校の年の1月19日に完成しました。採用されたのは、当時3年生だった生徒の歌詞で、当時の国語の先生が補作し、曲はプロの作曲家にお願いしました。創立以来歌い継がれた校歌の3番の歌詞にある「歴史を受け継ぐ若人よ 築いていこう未来へと」が言霊となり、土屋の生徒たちを育てています。そこで、40周年式典当日全校生徒の魂を込めた校歌を録音し、これからの土屋のチャイムに使う予定です。楽しみしててください。



学校教育目標：正門を入り、右奥の図書室前にある、木々に囲まれた大きな石に、「ひろい心 すこやかな体 ゆたかな創造力」と刻まれています。今は、ひっそりと私たちを見守ってくれていますが、私たちの宝である未来を創る生徒たちへの熱い思いが、土屋建学の精神が宿っています。目標は、時代と生徒の変化に伴い「夢に向かって～希望の登校 笑顔の活動 満足の下校～」へと進化してきていますが、「初心忘るべからず」創立当初の思いを胸に、教職員一同尽力して参る所存です。



10月10日の式典は、合唱コンクールと合わせて実施します。式典では、陸上でアテネオリンピックに出場した偉大な先輩からのビデオレターもいただいています。そして生徒たちの合唱の練習はすでに始まっています。朝・昼・放課後と生徒たちの歌が、学校に響き渡っています。素敵な時間です。どうぞ皆様、ソニックシティという素晴らしい場所で、生徒たちの創り上げた、そのクラス独自の、世界でたった一つの、彼らの合唱という作品を、魂を楽しみにしててください。

最後に皆様、改めて学校の主役は生徒たちです。そしてその生徒たちがこれからの未来を創っていきます。次の10年、いやこれからもずっと、共に私たちの宝である生徒たちを、守り、磨き、輝かせていきましょう。主役が光り輝くのは、私たち脇役次第です。どうぞよろしくお願いします。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校